

八戸高専同窓会 令和4年度 理事会・評議会 議事録

日時 5月28日(土) 14:00~16:30

会場 一般財団法人 VISIT はちのへ (ユートリー) 5階会議室

1. 会長挨拶

2. 出席者確認、委任状確認

M5 橋場副会長が出席となったため、出席者 15 名、委任状 23 名、事務局 5 名の合計 43 名となった。

3. 議案

(1) 令和3年度事業報告、同会計報告

事務局総務担当の釜谷氏から、令和3年度事業報告について資料のとおり報告がされた。

事務局会計担当の山本氏から、令和3年度予算及び会計報告について資料のとおり報告がされた。

この案に対して、以下のコメントが寄せられた

- ① 学生活動支援費に関して予算より執行額が少なかったのもっと窓口を広げて積極的に支援しても良いのでは？
- ② カード決済が可能となったことから終身会費納入者が増加し、7年間を通して貸借対照表において 1,200 万円を維持しながら、学生支援費の増額、はちのへ科学技術研究会への寄付、名簿管理システムの開発などに活用することが出来た。
- ③ 今年度の予算で、学生支援として、従前のロボコン、プロコンへの 20 万円から、50 万円に増額したが決算に至っていない。支援の対象を全国大会だけでなく、東北大会でも可とするなど支援範囲を拡大してはどうか？
- ④ 卒業時に記念品を配るなど、学生に対する支援を厚くし、同窓会として学生に認識してもらえるように働きかけてはどうか？

(2) 令和4年度会計経過報告

事務局会計担当の山本氏から、令和4年度予算および会計経過報告について資料のとおり報告がされた。名簿データベース改修費として 60 万円が追加計上され、承認された。

事務局総務担当の釜谷氏から、令和4年度事業計画について資料のとおり報告がされた。

この案に対して、以下のコメントが寄せられた

- ① 市内や近郊から会議に参加して頂いた人に対して旅費が支払われていないが、支払うべきではないかとの意見があった。市役所の会議等では一律 1,000 円／人が支給されており、これらを参考に次回の会議より、支払いできるように準備を進めることとなった。なお、金額については事務局で検討することとした。

(3) 第 26 回総会について

同窓会会長の舘山氏から、第 26 回総会について資料のとおり説明がされた。第 26 回総会は前回評議会での決定通り、令和 4 年に八戸市で開催することとし、第 27 回以降の開催については支部（東京）→本部→支部（仙台）→本部の順に、支部と本部の交互開催とする案が説明された。

第 26 回総会の開催について、慎重にすべきとの意見もあったが、10 月 1 日（土）が開催日の最終候補日として挙げられた。総会開催に向けて実行委員を編成することが決まった。委員長は瀧本副会長が本日欠席の榎本副会長と相談の上決定することとし、メンバーとして事務局からは南事務局長、評議員からは坂本氏、他に数名を加えることとなった。

総会開催について、以下のコメントが寄せられた

- ① 開催方法として、コロナ禍でも開催できるよう、また、現地に来られない人も参加できるように、現地+Web のハイブリッド開催を試みてはどうかとの提案があった。
- ② 懇親会について、立食での開催は難しいことが想定されるが、着席形式であれば開催が可能ではないか。
- ③ 開催方式については、開催日が近づいた段階で最終判断することになるが、ハイブリッド開催で準備を進めることとしたため、最悪状況が悪化した場合でも Web だけで開催すればよい。
- ④ 現状のコロナのレベルが維持できていれば、懇親会も含めて開催自体は可能ではないか。

(4) 名簿データベースのシステム更新状況について

瀧本副会長から、名簿データベースのシステム更新について資料のとおり説明がされた。なお、AWS 無料期間終了後、毎月 4,000～5,000 円の利用料が必要となること、会員 ID は卒業時に割り当てられる番号（ハイフンを無くしたもの）を使用予定であることについての追加説明があった。また、初期パスワードについても、会員 ID を使用する案が出された。5 千人に通知する必要があるため、外注での郵

送による方法、会員 ID を仮パスワードとし本パスワードを本人に入れて頂く方法などの提案があったが、一定のセキュリティーを確保しつつ追加費用が抑えられる方法について、瀧本副会長と事務局にて検討を深度化することになった。さらに、会費納入に関する年次処理について打ち合わせが必要となった。

(5) 同窓会役員改選について

事務局総務担当の釜谷氏から、同窓会役員改選について資料のとおり報告がされた。評議員の中にメール不通／住所不明等のメンバーがいるため、代わりの人を探す必要がある旨連絡がされた。

この案に対して、以下のコメントが寄せられた

- ① 代わりの人を無理やり探そうとしているが、そもそも同窓会が必要であるのかとの問題提起があり、多くの参加者から意見が述べられた。
- ② 連絡が取りやすいよう、各コースより年 1 人クラス連絡員を決めてあるが、連絡員から評議員を選出してはどうかとの提案があった。

(6) その他

(6)-1 会長、副会長の後任についての現状報告

同窓会会長の舘山氏から、会長・副会長の後任について資料のとおり説明がされた。現在、会長・副会長の後任ともに目処はたっていないことが報告された。

この報告についても、同窓会の必要性について議論がなされた。

(6)-2 同窓会報 48 号 発行計画 (案)

事務局総務担当の釜谷氏から、同窓会報 48 号 発行計画 (案) について資料のとおり報告がされた。

会長および支部長に対して、原稿の依頼を行った。